

平成30年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	5. 考古及び民俗資料整理事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	2. 文化財保護費	担当所属	文化課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	第4章	明日へつながるまちづくり	5年間計画額	
経常	補助	計画	0	0	6,364		基本施策5	歴史・文化資産の保全・活用	平成28年度	-
									平成29年度	-
									平成30年度	-
									平成31年度	-
						平成32年度			-	
						施策2	歴史文化資産を保全・活用します			

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	180	
本年度当初査定額	180	7,092

財源内訳	国庫支出金	県支出金				その他	一般財源
本年度当初要求額	0	0				180	△180
本年度当初査定額	150	30				0	6,912

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・資料の台帳化を行います。 ・資料の修復・保存処理を行います。 ・資料撮影、写真資料のデジタル化を行います。 ・収蔵場所の維持管理を行います。 ・収蔵資料の展示・活用を行います。</p>	<p>(事業の目的) ・考古・民俗資料は、市内外の教育機関・研究者からの問い合わせや貸出依頼、市内学校の総合学習での活用例が多数あり、その要望に適切に回答し迅速に対応するために、資料の整理・修復を行います。 ・市内各施設における資料の貸出展示等依頼にも積極的に応じます。</p>	<p>(事業の効果) ・市民の財産である文化財をより良好な状態で保管し、必要に応じて活用できる状態にします。 ・学校教育・公民館等での活用によって、市民が地域の歴史・文化に親しみやすくします。 ・佐倉市の歴史を市民、佐倉市を訪れた方にアピールでき、市への愛着、理解を深めることができます。</p>
<p>(事業実施上の問題点) ・終了した発掘調査の資料の移管が見込まれます。 ・民間事業に伴う埋蔵文化財調査は途絶えることがありません。そのため、中長期的には文化財収蔵庫の収納余地に不足が生じることが予想されます。</p>	<p>(前年度からの見直し点) ・施設の維持管理・保守点検に係る経費の一部を公共施設包括管理に移行しました。</p>	<p>(見積についての特記事項) ・機械警備の長期継続契約の切り替えがあります。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
07	4,663	4,663	0
11	608	608	0
12	200	214	△14
13	1,527	1,038	489
18	94	105	△11

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
	14	02	06	04	01	00	国宝重要文化財等(市内遺跡発掘調査)保存整備費	150	150	150	0
15	02	08	01	01	00	文化財保存事業(埋蔵文化財緊急調査)補助金	30	30	30	0	
差引一般財源								△180	6,912	△180	7,092